

2016年4月2日<土>—7月24日<日>

開館時間：10:00～18:00（最終入館は17:30まで）

休館日：毎週月曜日（ただし、祝・休日と重なった場合は開館し、翌平日休館）

観覧料：一般200円（160円）、大高生150円（120円）、65歳以上／中小生100円（80円）

*障害者の方は100円（80円）、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者（当該障害者1名につき、1名）は無料。
証明書をご提示のうえ、お申し出ください。

*（ ）内は20名以上の団体料金 *小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料

世田谷美術館分館

清川泰次 記念ギャラリー

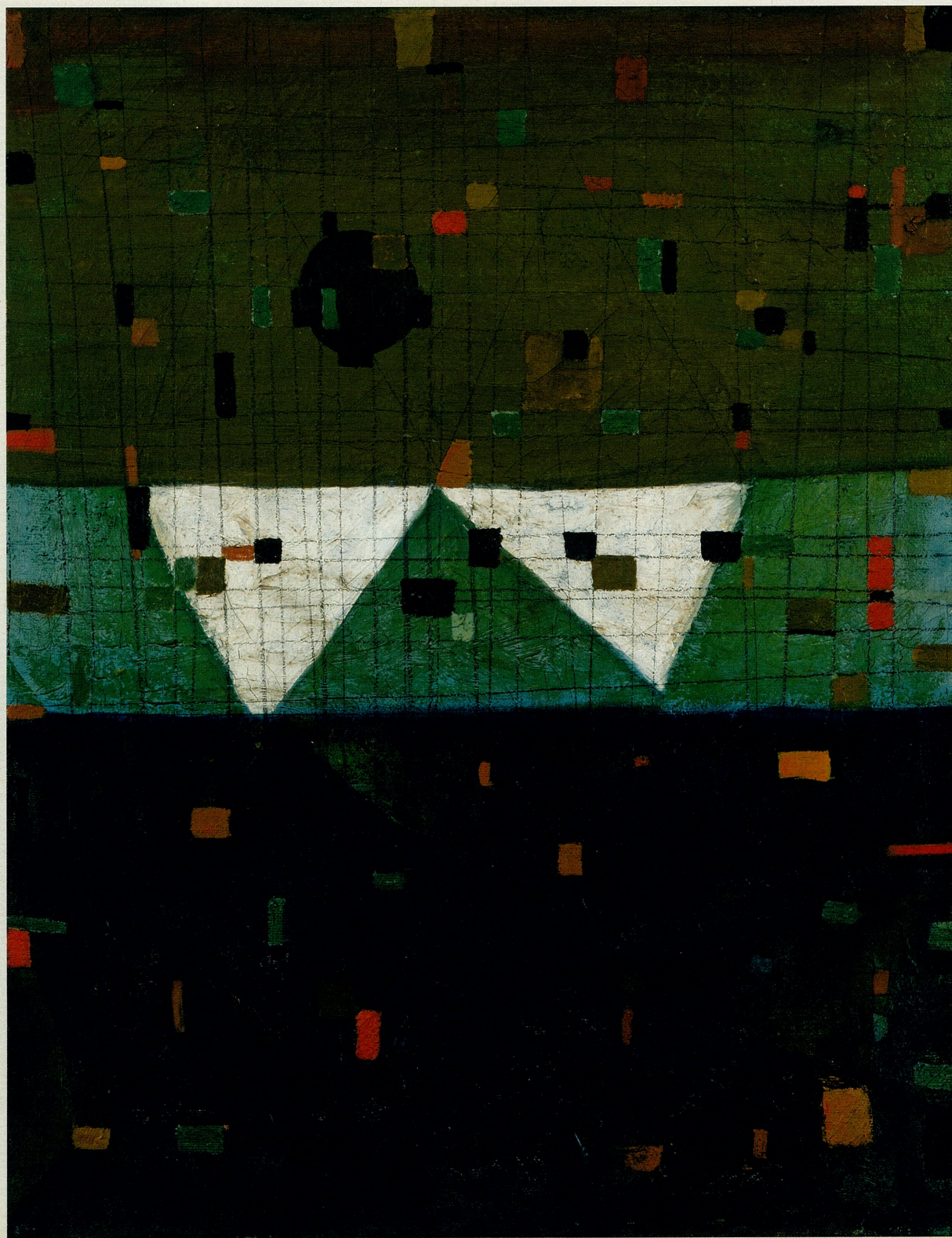
〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 TEL:03-3416-1202 <http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

[交通案内] 小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分

清川 泰次

新収蔵作品を中心にI

地中海、アジアの旅から



《逆ピラミッド》1954年

清川 泰次

新収蔵作品を中心にI

地中海、
アジアの
旅から



《エジプト-55》1955年



（エジプトにて）1954年 清川泰次撮影

2016年度の世田谷美術館分館・清川泰次記念ギャラリーでは、新しく収蔵された作品を、3期に分けてご紹介します。

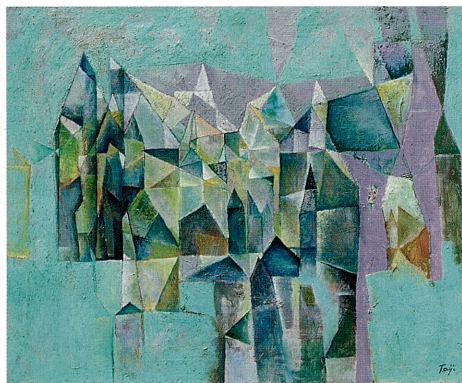
学生時代に油絵を始め、戦後に二科展や読売アンデパンダン展といった場で活動していた清川泰次（1919-2000）。1951年、32歳となった清川は、「本当の絵画とは何か？ 本当の油絵とは何か？」を探究するべく、単身、アメリカへ渡りました。そして、3年間の滞在を終えた1954年、ギリシャをはじめとしたヨーロッパ諸国、エジプト、インド、ミャンマー、タイなど各地を旅行し、帰国後に旅の記憶を数々の作品に描きます。旅先からインスピレーションを得て描かれた《エジプト-55》や《アテネ-56》などには、清川が目にした古代遺跡や街の風景が、抽象的な形として再構成され、画面に現れます。渡米を機に、疑問を抱いていた具象表現を離れ、本格的に抽象へと移行した清川が、新たに得た芸術観とスタイルで訪れた地を表現した作品と言えるでしょう。

旅行中に清川自身が撮影した写真も、当時の様子を鮮やかに伝えてくれます。慶應義塾大学に在学中、写真部に所属し、若い頃から写真に強い関心を示していた清川は、旅をしながら、たくさんの風景を撮影しました。カラーフィルムで撮影されたこれらの写真には、エジプトのピラミッドやギリシャのパルテノン神殿など、各地の遺跡が収められるとともに、車の行き交う街や、人々の生活の様子が捉えられています。

アメリカとは全く異なる光と景色に溢れた国々は、清川の眼にどのように映ったのでしょうか。シリーズ「新収蔵作品を中心に」の第1弾となる本展では、アメリカから帰国した直後の1954年から56年に制作された作品を中心に、約17点を展示します。また、併せて、旅先で撮影されたカラー写真を展示し、新たな絵画表現へと足を踏み出したばかりの清川が描き、写した地中海とアジアをご紹介します。



《アテネ-56》1956年



《マンダレー》1956年

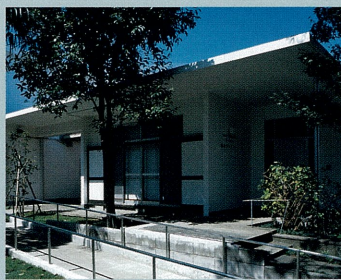


《海に見える街-56》1956年

世田谷美術館分館

清川泰次 記念ギャラリー

清川泰次記念ギャラリーは、成城の閑静な住宅街にあります。芝生が広がり、草花が咲く明るい庭と温かみのあるモダンな建築は、清川泰次のアトリエ兼住居を一部改装したもので、2003年に世田谷美術館の分館として開館しました。当館では清川泰次の作品を紹介するとともに、区民ギャラリーを併設し、区民の方々の創作活動を発表する場として、週単位でご利用いただいています。（展示予定はホームページをご覧ください）



©宮本和義

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 TEL:03-3416-1202

<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

[交通案内] 小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分



世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016
東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL:03-5450-9581
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>



©宮本和義

◆向井潤吉 水辺の情景

2016年4月2日（土）～7月24日（日）

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083
東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL:03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>



©宮本和義

◆宮本三郎の青春——その戦中までの歩み

2016年4月2日（土）～7月24日（日）

世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
TEL:03-3415-6011（代表）
[展覧会のご案内] TEL:03-5777-8600（ハローダイヤル）
<http://www.setagayamuseum.or.jp/>
*詳細はホームページなどでご確認ください。

同時開催

企画展

- ◆ファッション史の愉しみ——石山彰ブック・コレクションより—— | 2月13日（土）～4月10日（日）
- ◆竹中工務店400年の夢——時をさざむ建築の文化史 | 4月23日（土）～6月19日（日）
- ◆アルバレス・プラボ写真展——メキシコ、静かなる光と時 | 7月2日（土）～8月28日（日）

ミュージアム
コレクションI

◆アーティスト・コロニー・セタガヤ

——「白と黒の会」、「砧人会」、「自由が丘文化人会」 | 4月9日（土）～7月10日（日）